

令和7年7月2日
健康推進課長 相川広一
内線 4130
外線 076-225-1435

石川県腎友会「命のキャラバン」運動について

1 概要

石川県腎友会が、平成11年度から、臓器提供について最も重要な立場にある救急医療や脳神経外科領域に携わる医療従事者に対して、移植者と移植を希望する患者の状況を説明し、臓器移植についての理解を深め、移植医療の普及推進を図るため、毎年、「命のキャラバン」と銘打ち、県内の臓器提供協力病院等を訪問しているもの。石川県庁（健康福祉部長室）で「各病院長宛の知事メッセージ」を健康福祉部長から受け取り、病院等を訪問する。

2 実施主体

団体名称 NPO法人 石川県腎友会

代表者 理事長 山本 富士夫

所在地 金沢市長土堀1丁目16-15 丸昌ビル2F

発 足 昭和47年2月

(県下の透析患者40数名で石川県人工腎臓友の会として発足)

会 員 386名（令和7年4月1日現在）

慢性腎不全患者で構成されており、ほとんどの会員が人工透析療法を受けている。

※ 特別会員として腎移植者も含む。

活動内容 ① 臓器移植普及推進月間（毎年10月）への協力（募金活動等）
② 腎不全患者の集い（レクリエーションなど）
③ 日常活動（会報発行、会員生活指導など）

3 令和7年度「命のキャラバン」の概要

7月3日（木）13:30～13:50に部長室にて知事メッセージの受渡式を実施。

7月3日（木）～9月25日（木）に県内27か所の透析を行っている病院を訪問予定。

【参考】近年の運動実績

令和2年度 県内46病院に知事メッセージを送付

令和3年度 県内48病院に知事メッセージを送付

令和4年度 県内48病院に知事メッセージを送付

令和5年度 9月～10月に県内31病院を訪問

令和6年度 7月～9月に県内25病院を訪問